

京都市環境基本計画(2016～2025)の構成(案)

- はじめに(市長挨拶)
- 計画の構成 ※ 計画の全体像を初めの部分で示す

第1章 環境基本計画について

1 改定に当たっての今日的背景

- ・ 京都市の環境の状況
＜市民への問題提起＞

○ 京都市の持続可能性

○ 社会情勢・環境の変化

初めに、京都市の持続可能性、環境負荷について分かりやすく説明(エコロジカル・フットプリントの活用を検討)

東日本大震災に伴うエネルギー政策の見直しや、頻発する異常気象など、市民の方が身近に感じる環境の変化を取り上げたうえで、現代の暮らし方について問題提起を行う。

・現状と課題

旧計画の総括を含む

※ 旧計画の環境指標の状況等の詳細な情報は資料編へ

2 基本的事項

(1) 計画の役割と位置付け

- ・ 環境基本条例に基づき、環境の保全に関する長期的な目標や個別分野の施策の方向性を示す環境行政のマスタープラン
- ・ 「はばたけ未来へ！京プラン」の個別計画

(2) 計画の期間

平成28年度から37年度まで(10年間)

第2章 京都市が目指す環境像

1 基本理念

現在及び将来の市民が健康で文化的な生活を営むうえで欠くことができない健全で恵み豊かな環境を、将来にわたって維持されるよう適切に保全していく。

2 京都市が目指す環境像

地球環境とくらしが豊かに調和する「環境共生と低炭素のまち・京都」

＜市民意見の紹介＞

○ 子どもたちが夢見る京都の環境

○ 子どもたちが思い描いた京都の環境の実現に向けて

・ 環境像の具体的なイメージを示すため、ワークショップでの意見ととりまとめたものを活用する。

・ 一般向けワークショップでは、子どもたちが思い描いた環境の実現に向けて、私たちのくらしがどうあるべきかといった観点から意見をいただく

第3章 施策体系

1 長期的目標

- ・ 目指す環境像の実現に向けた具体的な方向性を示すものとして、4つの長期的目標を設定

＜各分野の課題に対応＞



＜総合的な課題に対応＞

ひと・しくみ
づくり

2 基本施策

- ・ 長期的目標を実現するための施策の方向性を示すものとして、11の基本施策を設定

＜長期的目標＞

低炭素社会

自然共生型社会

循環型社会

＜基本施策＞

省エネ・創エネ、温室効果ガス排出削減

生活環境、自然環境、快適環境

2R・分別、適正処理

＜個別施策＞

京プラン実施計画、
各分野別計画の
施策を示す

* 環境指標

長期的目標ごとに主観指標、基本施策ごとに客観指標を設定

第4章 環境配慮指針

＜検討中＞

- 1 環境配慮の基本的な考え方
- 2 環境配慮を進めるしくみ

ワークショップの結果を必要に応じて反映

第5章 計画の推進

1 計画推進の基本的考え方

- ・ PDCAによる進行管理、おおむね5年ごとの適切な見直し
- 2 計画の推進体制
 - 3 計画の進行管理